

新退教通信

No.180

2020.3.1

新潟県退職
教職員連絡協議会
Fax 025-281-8146

社会の風を入れる窓



新退教副会長

米山忠彦

既存の組織の会員数が、減り続けています。組織への加入者減少に加え、会員が高齢化し死亡者が増えています。「入会してもらっていることを、喜ばなくてはならない時代」、そんな時代が来ています。

かつて会員数4000名を誇った新退教も例外ではありません。「新退教など既存の組織の存在価値はないのでは？」という人もいます。しかし、既存の会に参加した時の先輩の言葉、「豊かな人生は、既存の会をも生かす『積極性』から生まれる」が心に残っています。わたしは、新退教は「社会の風を入れる窓」と考えています。

新退教役員による新潟日報「窓」欄への投稿がありました。

1本目は、長岡支部幹事長横山弘さんの「国民 見下されていないか」です。安倍首相は「丁寧の説明する」と連発しますが、質問には正対せず、いつの間にか重要法案が成立してしまいます。野党は問題の核心を突く追及をして欲しいと結んでいます。

2本目は、本部の事務局長山岸修さんの「県職員の給与削減を懸念」です。「県財政の悪化」即「給与削減」の動きに対し警鐘を鳴らし、学校現場で頑張っている後輩教職員に、「投稿」という形でエールを送っています。

退職後の私たちの多くが、横山さんが言われるように「政治家は現実を分かるように伝えていない」「将来を視野に入れて見渡す政策を提案していない」「日本の政治はこのままではいいのだろうか」「退職者として、できることは何か」と考えています。

新退教本部が、その問いに答える形で行っているのが「学びの集い」です。昨年度は、今まで縁がなかった民間会社重役で「反原発」の活動を行っている方を講師に迎えました。今年度は政治やエネルギーの市民運動を实践されている大学教官を講師に学習会を行い、行動の選択肢を探りました。

本部役員として、政治の世界に限らず仲間への問い「退職者として、できることは何か」に答え、風を入れる活動、「新退教通信」の発行、支部間の情報交換等、さらなる充実に努めたいと考えています。

目次

(敬称略)

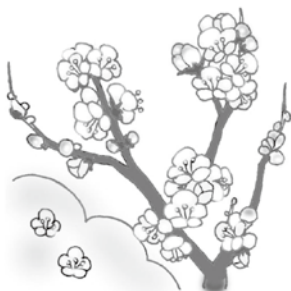
1p	巻頭言	米山 忠彦
2p	支部代表者会 新教組旗開き	
3p	ことぶき講座ご案内	
4p	支部から	北魚支部 須田 文彦 上越支部 松村 久雄 中魚支部 市川 正 佐渡支部 山岸 善晴 新潟支部 唐沢 哲也 新潟五泉支部(準備) 新井 秀和 みんなの広場 高橋 初敏 新退教の皆様へ
7p		

健やかに老いる

何かおかしいと感じたら、声を上げることを恐れてはいけません。

フレッド・トヨサブロー・コマツ

(日系2世米国人 1919～2005)



支部代表者会 & 現退役員交流会



12月9日、支部活動について互いに悩みを打ち明け、より良い向上を目指す「支部代表者会」と、新教組と新退教の役員が意見交換を行う「現退役員交流会」が開催された。

また、会員を一人でも多くとの思いから新潟市江南区・秋葉区・南区・五泉市・阿賀町を意識した新潟五泉支部の再構築を模索する中心的な会員が、大坂和夫会長の開会挨拶の中で紹介され、オブザーバーとして参加した。

「魅力ある活動」は「会員増加」につながる

三南支部の土田博支部長から「魅力ある新退教活動の創造と組織拡大」について事例報告があった。「地域に関わる・技術が身に付く・土産がある」をキーワードに地道に参加者を増やしている様子が報告された。



全体協議やグループ協議では、各支部で工夫している活動が紹介された。また、役員だけの活動になりがちな傾向を打破するために、顔の見える案内文書の配付、会員の動静が分かる広報紙の在り方等、横のつながりの重要性が議論された。「魅力ある活動」は、参加者の喜びとなり、現役世代にも伝わって「会員増加」につながるとまとめられた。

米山忠彦副会長は閉会挨拶で会員一人一人を大切にすることをいと締めくくった。

見える活動で課題解決を

新教組の八木克洋委員長が挨拶で、県財政の悪化と教職員の給与等削減の関連の不条理さ、組合員の政治参加意識の希薄化傾向について熱く語った。中島崇副委員長からは、採用状況の変化に伴う新加入に関わる課題、働き方・多忙化解消の取組と残された課題等の報告があった。

意見交換では、先輩からの助言が随所で見られた。「昔はこんな不自由があった。しかし、その改善をして今の権利がある。これを言い続けることが、見える活動となり、課題解決になるのでは。」という言葉が胸に残った。

(本間)

新教組旗開き

恒例の旗開きが1月11日、新潟会館で行われた。八木克洋委員長は、県財政危機による給与等臨時削減の不当性、働き方改革、憲法問題等について熱を込めて話された。

来賓挨拶4人、乾杯は徳留信登上越支部書記長、国会議員挨拶4人、閉会挨拶は中島崇副委員長が行った。

充実した旗開きであり、貴重な情報交換の場でもあった。

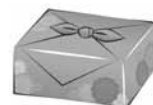
来 賓 (敬称略 *日政連議員)

牧野茂夫 (連合新潟)、吉田裕史 (高教組)、皆川正裕 (自治労)、長沢正一 (県職労)、那谷屋正義 (*参議員)、西村智奈美 (衆議員)、黒岩宇洋 (シ)、菊田真紀子 (シ)、森裕子 (参議員)、打越さくら (シ)、山本和代 (日教組)、長部登 (*県議)、青木学 (*新潟市議)、石附幸子 (*シ)、荒井眞理 (*佐渡市議)、齋藤敏明 (労金)、新井秀和 (学協)、森弘志 (教職員共済)、大坂和夫 (新退教)、山岸修 (シ)、金子玲子 (退女教)、遠山栄子 (シ)、金子啓子 (相談室)、山田彫子 (シ)、他15人

(山岸)



金品3億2千万円!



昨秋、関西電力の役員等20名が、福井県高浜町の元助役・森山栄治氏から3億円以上の金品を受領していたことが明らかになりました。しかも、菓子箱の下に金貨や小判(?)が入っていたとか…。時代劇「水戸黄門」の場面を想像してしまいます。

とにかく、私たちの電気料金から闇金が生み出され、原発立地や再稼働の工作に使われていたのです! 許せません!

「原発はみんなが嫌がる施設だから汚いお金をジャブジャブ使わないと建設も運営も出来ない。だからこんなことになる」と河合弘之弁護士は指摘します。

10月24日、大阪で「関電の原発マネー不正還流を告発する会」が結成され、全国から千人以上の告発人を募るようになりました。

新潟県平和センターから新教組・新退教にも告発人の依頼が急遽入り、新退教本部役員と支部長の15人も告発人に加わりました。

12月13日、目標千人を大きく上回った3272人で大阪地検に告発しました。

「告発する会」にご支援を。

(山岸)

こつぶき講座のご案内

- 4/27 (月) 始めようエンディングノート
- 5/8 (金) 笑いヨガ&漫談&芸能①
- 6/1 (月) スマホ相談
- 7/10 (金) 笑いヨガ&漫談&芸能②
- 8/24 (月) ルール知る: 囲碁・将棋・麻雀
- 9/11 (金) 笑いヨガ&漫談&芸能③

☆10:30~12:00 ☆新教組会館

☆申込は新退教へ TEL025-281-8146

☆読者会員・賛助会員も参加OK

☆希望者にはライングループで毎回案内

年金額0・2%プラス



2020年度の年金額改定について、1月24日、厚労省から公表された。法律の規定で昨年度より0・2%プラスとなる。(物価が0・5%上昇しているの、実質は0・3%減…。何か方法はないのか。)

*改定ルール: ①物価変動率、②賃金変動率がともにプラスの場合、低いほうを用いる。今回、①は0・5%、②は0・3%、③マクロ経済スライド調整率は▲0・1%なので、②から③を引いて0・2% (山岸)

★「30人以下学級…請願署名」72,158筆を提出し、県議会に請願

—新退教の署名2025筆—

新教組は12月12日、県議会総務文教委員会で、30人以下学級実現・教職員定数増・教育予算増額を求める請願書の趣旨説明を行った。口頭陳述に立った徳橋和人執行委員は、本県教育予算の割合が14.4% (全国平均19.0%) で全国46位であることを指摘。「何にお金をかけるべきかを改めて議論してほしい」と述べ、教育予算の拡充を強く求めた。

しかし、結果は今年も請願不採択であった。今年度、県小中学校PTA連合会と連携した署名活動を展開し、新たにラジオCMも放送して世論喚起を図っただけに残念であった。

(2020.1. 20 新教組週報 抄)

*不採択理由「30人以下学級については、検証と議論が必要なため」(令和元年12月20日、新潟県議会議長)

★皆様の要望をお寄せください

5月下旬に新退教総会、6月上旬に日退教総会、7月下旬に新退連総会があります。特に、新退連は秋に自治体(県・市町村)要請を行いますので、身近で具体的な生の声を新退教本部や各支部にお寄せください。(率直に日常的な気づきを。メモでOK。)



支部からのたより



現職と退職が

一体となつて



小千谷北魚支部 副支部長
須田 文彦

想定をはるかに超えるスピードで進展する少子高齢化。政府自民党の無策と変節ぶりには腹が立つばかりだ。この超高齢少子化に対して、国も地方自治体も財政が立ち行かなくなっている。自民党政権の制度設計ミスがすべて現役世代に重くのしかかっている。

当然教職員も例外ではない。あと10年もすれば皆70歳まで働かされ、年金支給年齢は75歳に引き上げらるだろう。

さらに憂慮すべきは国民医療保険制度の崩壊である。年金制度よりも早く破綻する可能性がある。若い頃の働きすぎがたつて、病気になっても「医療費は5割負担」などという時代が、もしかしたら来るのでは…。現職者と退職者の境が不明確になっている今だからこそ、両者が一体となつて、教職員が希望のもてる時代になるように協働体制を構築する必要があると思う。

行った観た感動した

上越支部 事務局次長

松村 久夫

二人が元気なうちに、新幹線で津軽海峡を渡り、函館山・五稜郭で夜景を楽しみ、厳島神社では潮の満ち引きを体験し、大和ミュージアムで感慨に浸りました。また、愛車で4回目の松本城を登城、イヨボヤ会館、油揚げを食べに行き栃尾城に登城、2回目の姫路城や天橋立、越前大野城、千里浜なぎさドライブウェイも訪れました。

加茂水族館ではクラゲに癒され、3回目の日光東照宮、東武ワールドスクエアにも行きました。2回目の彦根城ではひこにゃんに癒され、関ヶ原古戦場、長浜城、賤ヶ岳古戦場山頂に登ったり、小谷城址、一乗谷城址を観たりした1年でした。特に、武士の知恵と、工夫と、体力に感動させられました。今年は、愛車で2回目の弘前城と3回目の熊本城に行く予定でいます。体力と相談しながら・・・



一年の回想



中魚支部 支部長
市川 正

昨年は、3月に9時間にも及ぶ心臓手術を受けることになり、高齢の母の世話をすることができなくなるため、1月に母の施設入所、そして私の手術（1か月入院、2か月の自宅安静）8月は妻の股関節手術と入院が続き、昨年の前半は闘病続きの年となりました。10月は家の後半分の解体（1か月間）と続き、波乱に富んだ1年でした。また、今年の1月からは次女一家（7歳と5歳児、婿は海外勤務）が同居、妻との二人生活が一変し、生活感覚や習慣のズレから、何かとストレス感の多い日々を慌ただしく過ごしています。でも、5月には末娘が結婚します。これで我が子全員が所帯持ちとなります。親の務めも一区切りです。これから先の1年、支部も私も平穏な日々となることを願っております。

学校へのボランティア



佐渡支部 支部長
山 岸 善 晴

文科省は昨年10月、毎年行っている「児童生徒の生徒指導上の調査」（公立小中高悉皆）平成30年度分の集計結果を発表した。直近5年間を見ても、「いじめ、暴力行為、不登校」の児童生徒数は右上がりを続け、過去最多となり、不審者事案や虐待事案は深刻な社会問題と化している。

新潟支部、この1年



新潟支部 幹事
唐 沢 哲 也

ここ数年、新潟支部の活動は、春の総会・秋の一泊研修旅行・福祉介護施設訪問・学習会（講演会）・支部だよりの発行となっ
ています。新潟支部の伝統を守りつつ、新
しさも取り入れるよう工夫しています。新
会員の評判が良かったことを紹介します。
総会の会場を支部会館から「じよいあす

これらの対応に取り組んでいる現役教員
の多忙感や疲弊感解消の一支援策として、
支部では全会員に書面で学校ボランティア
への参加を呼びかけた。授業支援、生徒指
導支援、特活支援、個別指導支援等、各校

のニーズを聞きながら対応しており、筆者
も地元小学校の子ども安全応援隊員を引き
受けた。主務は子どもたちの登下校時の安
全確保である。

遠距離の子どもは3km弱。孤独な早朝散
歩より楽しい健康づくりだと得心している。

新潟会館」に変更したことで、集まりやす
く、また、安心して飲めるようになりまし
た。

湯沢への一泊研修旅行。旅日程や料金、
事前の資料準備に担当幹事の細かい配慮が
あり、昼夜ともに充実した研修になりました。

「支部だよりの」が読みやすくなりました。
会員が知りたい情報を編集委員会で検討し
発行しています。政治・年金問題、会員の
趣味や旅行記など、充実した記事の掲載で、
発行が待ち遠しいという声も届いています。

新潟五泉支部の再出発



発起人
新 井 秀 和

2年前に退職、新退教に入ろうと思っ
たら「秋葉区に住んでいる人の新退教はな
くなったよ」と言われました。調べてみたら、
5年前に様々な事情から支部が本部に会費
を払わなくなり、自然消滅したような状態
だったとのこと。

そんな折、退職した人から「新潟五泉支
部を復活させてよ」と言われました。退職
金や年金制度が改悪され、退職者にとって、
不安な状況に追いやられています。改めて、
団結することで安心感が生まれ、未来に希
望が持てると思えました。

そこで、退職した元新潟五泉エリアにお
住いの方々に声をかけたところ、8人の方
に賛同をいただきました。佐々木均さん、
高橋初敏さんを中心に、以前のような新潟
五泉支部を再構築したいと思います。
温かいご支援ご協力のほどよろしくお願
いいたします。

◎教職員共済「火災共済」

地震による火災や家屋倒壊等は、火災共済では補償されない。自然災害共済を付帯すれば補償される。

「北陸ブロック囲碁大会」

10月4日、富山市で行われた。県内からの入賞者は二人。祝入賞。

Aクラス 3位 澤田芳郎七段（上越支部）
Cクラス 3位 長谷川真二級（長岡支部）

「核兵器廃絶千万人署名の報告」

昨秋、急に入った標記の署名、各支部役員クラスの方にお願したところ、589筆集まった。感謝。

みんなの広場

海道日本一周 九州②

あこがれの美しき開聞岳

高橋 初敏

大分から宮崎へ。青島海岸で穴の開いた石を拾う。小学校6年生の江ノ島旅行で拾った石と同じだ。穴の開いた石の謎が50年ぶりに解けた。

大隅半島を回り、桜島を一周。火山灰で埋まったお社にお参りし、鹿児島市へ。なんと坂の多い街だろう。お城は工事中で入れない。

薩摩半島の南端。小学校の時



初めて手にした地図帳に出ている「開聞岳」にいよいよ会える。その前に立ち寄った知覧の特攻資料館。出撃の前まで過ごしたという三角兵舎と開聞岳が重なり、憧れの山は別の山に。開聞岳は日本に別れを告げる特攻兵の富士山だった。



【二情報】

◇会員夫妻の「ぎやらりー浜つばき」(0256-77-2013開館土日月)

- 3/21〜4/6 金子昭子切り絵展、4/25〜5/11 尾身伝吉木版画展、5/23〜6/8 佐久間節子裂織展、6/13〜29 パッチワーク作品展、7/4〜20 樋口正と仲間たちの絵画展、8/1〜24 (15, 16, 17休) 渡辺欣次木版画展

◇3/21(土) 13:30、新潟市総合福祉会館(中央区八千代1)で映画「主戦場」(日系米国人ミキ・デザキが慰安婦問題論争を様々な角度から検証・分析したドキュメンタリー)が上映される(募金500円)。

◇直江津駅前のホテルハイマートの駅弁「さけめし」が「駅弁味の陣2019」で最高賞の「駅弁大將軍」を受賞し、1/10に表彰状などが手渡された。「さけめし」は1200円(税込み)。直江津駅や上越妙高駅、ハイマートで販売。

○ケアマネ(介護支援専門員)は、介護保険制度に基づく介護サービスを、利用者の状態に応じて組み合わせ、実際に提供できるように各方面に段取りをする人。居宅介護支援事業所に所属。ケアマネを探すには地域包括支援センターに相談するといい。ケアマネは途中で変えることも可能。「相性が悪い」と言えば角が立たない。

- 認知症高齢者を支える主なサービスは3つ。
① 認知症デイサービス：一般のデイサービスより手厚い ② 小規模多機能型居宅介護：スタッフの訪問+施設への通い・泊り ③ グループホーム：要支援2以上

□昨年10/2、地公退(地方公務員退職者協議会)は総務省へ2019年度要求を提出。

*昨年12月、フィンランドに34歳の女性首相が誕生した。サン・マリーンさんは同国史上最年少の首相。

*20191217、世界経済フォーラムが2019男女格差指数を発表。日本は121位(18年110位、17年114位、16年111位)。上位は、①アイスランド ②ノルウェー ③フィンランド ④スウェーデン

△ボランティア募集▽

事務局の人手が足りず四苦八苦しています。1か月に1回程度、事務・通信づくり・ことばき講座等と一緒にやってくださる方はいますか。(山岸)



新潟県退職教職員連絡協議会の皆様へ

日本教職員相互共済会からのお知らせ

日本教職員相互共済会は 2020年代半ばごろに事業の終了を予定しています

当共済会は、1982年に日教済（現在は教職員共済）の「退職者共済」を移管し、これを運営する組織として出発しました。以来、お支払いした共済金の総額は190億円を超えています。

一方、共済発足時には想定されていなかった超低金利・ゼロ金利が長期化しており、「お支払いいただいた掛金の運用利息で共済事業を行い、最終的には掛金相当額もお返しする」（改定退職者共済の場合）という当会の事業構造に無理が生じてまいりました。

このような事態を受け、当会は第71回通常総代会（2019年6月27日）において、「会員の皆様に掛金相当額をお返しできるタイミングを見極め、その時点で事業を終了する」という基本方針を確認しました。

事業の終了時期は2020年代半ばごろを想定いたしております。

	教職員共済が管理	相互共済会が管理
改定退職者共済 (1981～1999年度)	死亡見舞金・退会見舞金 喜寿・米寿祝金 (生命特約)	長期療養見舞金 (入院特約)
新退職者共済 (2000～2001年度)	死亡見舞金・退会見舞金 喜寿・米寿祝金 (生命特約) (入院特約)	長期療養見舞金 人間ドック給付

1. 「退職者共済」は教職員共済と当会で分担してお引き受けしています

退職者共済は、上の表の通り教職員共済と当会で分担してお引き受けしています。このうち事業を終了するのは、相互共済会が管理している部分（網掛け部分）になります。

2. 事業終了に際しては、お支払いいただいた掛金相当額を返戻金としてお支払いします (改定退職者共済の場合)

改定退職者共済については、お支払いいただいた掛金（一口5万円、二口まで）は、共済金支払いに必要な責任積立金として教職員共済と分担して管理されており、事業終了時には当会分の全額をお返しします。

なお、その際に教職員共済分を同時解約された場合、お支払いする返戻金の総額は「一口あたり5万円」を下回りません。（長期療養見舞金を2度お支払いした方については下回る場合があります）

3. 円滑な事業終了に向け、万全の準備を進めてまいります

事業終了までの間、当会は従来通りの共済事業を継続します。共済事由が発生した場合、遠慮なくご請求ください。

また、事業終了に向け混乱を招くことのないよう万全の準備を進めてまいります。現在、この準備の一環として「早期解約キャンペーン」を実施中です。2020年10月末日までにご解約いただいた方にはエコバックをプレゼントさせていただいておりますので、ご協力いただければ幸いです。

お問い合わせ 日本教職員相互共済会フリーダイヤル 0120-940-549
教職員共済生活協同組合フリーダイヤル 0120-568-372



2020年 新年挨拶

日本退職教職員協議会 会長 竹田邦明

日退教通信

No. 388

2020.1

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F
発行責任者 竹田邦明
TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081
E-mail nitaikyoo@gmail.com キーワードURL <http://www.nitaikyoo.com>

2020年、「戦争の世紀」から「人権の世紀」へと願った21世紀も20年という節目の年を迎えました。人として飢餓や戦争で命を落とす危険から逃れるだけでなく、一人ひとりが自由で平和に生きることでできる世界を築いていきたいものです。

政府は、昨夏の参議院選挙が終わると「社会保障の負担と給付の見直し」に着手し、議論を進めてきました。次期通常国会に「介護保険法改正案」が提案される見通しです。医療制度も75歳以上の自己負担2割化などの「改革」が進められます。方向性は負担増であり、給付抑制です。安倍首相は「2020年には憲法改正」について、ことあることに意欲を見せていますが、現実的には難しい状況に追い込まれています。政治の世界、油断はできません。

水1 昨年台風風などにより、想定を超える雨量で、河川氾濫など大きな災害が生じ、多くの方が被災しました。もちろん人災の部分もありますが自然の恐ろしさ、水の力をまざまざと見せつけられました。

被災すればまず水の確保が求められます。水は生きるのに欠かせないものであることはいうまでもありません。

水2 昨年11月6・7日、「沖縄と連帯する第10次沖縄交流」で辺野古大浦湾にボートを出しました。美しいアオサングの巨大群落に目を奪われました。10月の日退教組織活動や普天間飛行場の周辺浄水場の水源から有機フッ素化合物のPFOSやPFOAが高濃度で検出され、住民の不安が大きくなっていることが報

告されました。発がん性などの健康への影響が指摘されているPFOSは10年前に、PFOAも昨年、製造、使用が原則として禁止されました。

これらの有機フッ素化合物は基地由来だとみられています。米軍の使用実態は明らかにされておらず、県による基地内調査も地位協定に阻まれ、実現していません。米国の環境保護庁は2016年、飲料水の健康勧告値を1リットル当たり70ナノグラムと決めました。しかし、国内では基準値さえ設定されていません。

水3 11月17・18日には「第4回福島学習の旅」で、まもなく9年になろうとする原発被災地を訪れました。帰還困難区域を走る県道114号線からの紅葉は実に鮮やかで目にしみるものでした。その美しさの一方、除染によって出された除去土壌が詰められたフレコンバックを大熊町にできた中間貯蔵施設に運ぶトラックが頻繁に行き来し、土埃をあげています。前環境大臣が離任直前、福島第1原発の貯まり続ける汚染水について、「海洋放出しかなない」と新大臣への「宿題」を投げか

けました。敷地内での保管に限界が迫り、海洋放出論は加速しています。汚染水には大量のトリチウムが含まれています。トリチウムは食物連鎖で次々に生物濃縮します。トリチウムによる内部被ばくの危険性は否定できません。

仲間を増やし、連帯・交流を深め、自らの生きがいを求めつつ、生き易い社会を作るため2020年も力を出し合ひましょう。

日退教の第3冊目 「未解決の領土問題を考える」 —学習資料—発行!

日退教は2011年4月に「沖縄とヤマト」(絶版)を、2012年8月には「子どもたちに残そう 核のない地球」—私たちはもう騙されない—(残部僅少)を発行しました。

今秋、標記の冊子をA5版にして発行しました。カンパとして500円をお願いしています。10冊

未解決の領土問題を考える

2019年10月
日本退職教職員協議会

料は日退教で負担します。単会に申し込んでも結構です。是非、領土問題について学習しましょう。